

# 会議記録

## 令和元年度 版画学会 第二回運営委員会・定期総会

日時	令和2年12月5日(土) 16:00~18:30 (運営委員会・定期総会同時開催)
会場	ZOOMによる遠隔会議
出席者	生嶋順理会長 平木美鶴事務局長 運営委員：23名 一般会員：48名 名誉会員：1名 賛助会員：0名 ※会員総数 385名(半数193名)に対して、出席および委任状205名で総会成立

### 【審議・報告事項】

令和2年度 版画学会第二回運営委員会・定期総会において以下の事案が審議了承された

1. 会長挨拶 (生嶋順理会長 東京造形大学)

2. 審議事項

—学会事務局— (平木美鶴 徳島大学)

2-1 新入、移動、退会、賛助会員の動向

配布資料を基に新入会員、退会、名誉会員推薦、住所不明、住所変更の報告がなされた。

新会員及び退会者、名誉会員は下記の通り承認された。

新入会員 (6名) :

平田 翔 関東ブロック (東洋美術学校)  
板倉溜果 関東ブロック (東洋美術学校)  
古賀慧道 関東ブロック (武蔵野美術大学)  
木下雄二 中部・北陸ブロック (愛知県立芸術大学)  
浅沼香織 中部・北陸ブロック (愛知県立芸術大学)  
都築遼子 中部・北陸ブロック (愛知県立芸術大学)

退会希望 (5名) : 杉野秀樹、中津留友子、渡部吉之、内藤克人、酒井一樹

名誉会員 (1名) : 天野純治

・名誉会員の選考基準や手順を明確にする要望があり、今後検討することとした。

2-2 令和2年度補正予算案修正及び令和3年度予算案について

①令和2年度補正予算案修正については、大学版画展の展示の監視員を外部委託462,000円の支出増に対応して、会議費、事務費、ホームページ管理費、賞金、会員支援事業の支出を少なくして捻出する案が承認された。受賞者数を検討する意見交換が行われ、18名を基準とする事とした。優秀賞決定の経緯については、この議事録に付録して報告。

②令和3年度予算案は、上田市美術館にて大学版画展が開催されることから収入の部、支出の部、共に大きな変化があり、これまでと比べて収入が減り支出が増えるが、夏の総会において補正予算で修正する事で承認された。

また、これからの版画学会運営をする上で現状では令和4年度にはマイナス会計が見込まれるため、次期、事務局と支出調整や学会誌のPDF化を行う事や、会費の値上げも検討事項とすることとした。

## 2-3 新会長・副会長・運営委員について

会長・副会長改選の結果、会長 倉地比沙支先生（愛知県立芸術大学）、副会長 清水三美子先生（女子美術大学）が承認された。また、運営委員改選も以下の様に承認された。

北海道・東北ブロック 平垣内清、若月公平、中村桂子

関東ブロック 生嶋順理、清水美三子、笹井祐子、高浜利也、古谷博子、三井田盛一郎、田嶋直樹

中部・北陸ブロック 倉地比沙支、蜂谷充志

関西ブロック 濱田弘明、池垣タダヒコ、田中栄子、清水博文、日下部一司

中国・四国ブロック 高垣秀光、平木美鶴

九州・沖縄ブロック 知花均、古本元治、於保政昭

全国 野口玲一、三木哲夫、奥村泰彦、沼田英子、都築千重子

## 2-4 アーカイブ事業進捗状況報告

蜂谷先生が今年度の研究助成をとっており、作品の画像とデータをあわせる作業を引き続き行う。来年度にアーカイブの公開予定。

## 2-5 2021年度大学版画展開催について

倉地先生より来年度開催する上田市立美術館の開催概要について説明があった。会期予定は令和3年12月4日～19日、会場設営などはアルバイトに依頼、1段掛けで作品数は200～250点程度。美術館側では常設展と合わせてこの期間、版画の大きな展覧にしたいと考えている等の説明があった。

## 2-6 学会誌について

遠藤竜太先生より配布資料を基に、今年度の学会誌の発行についてと2021年度予算案や新しい編集委員会体制について説明がなされ承認された。

## 2-7 来年度の夏期運営委員会・総会の日程について

日程については、6月末から7月初旬であるが、詳細は未定。

## 3.報告事項

### 3-1 全国大学版画展部門 第45回全国大学版画展報告（清水美三子 女子美術大学）

清水美三子先生（女子美術大学）より第45回全国大学版画展について配布資料を基に報告がなされた。

コロナで参加できない学校もあり、昨年43パーセントの参加作品、コロナ対策で搬入展示も期間を昨年より伸ばした事やレセプション、公開セミナー、特別展示の中止、行事内容等についての説明がなされた。

### 3-2 優秀賞の投票方法について（生嶋会長）

投票方法と投票期間について説明があった。学会HPとVRの見方、投票用紙について具体的に詳しく説明があった。VRは会期終了後も見る事ができるようになっているので授業等にも活用くださいとの事。

<以下、継続審議事項>

「名誉会員推薦基準検討」

「学会誌のデジタル化検討」

「会費値上げ検討」

<優秀賞の投票集計と受賞者決定の経緯報告（優秀賞審査検討部会）>

・126票の投票があり、うち1回2重投票（先の1回を削除）、4票は無効票（投票権の無い方からの投票）。これら5票を引いた有効投票121票を集計しました。

・投票数の多い順から並べ、12/5総会で確認した優秀賞の基準の数18名を検討しました。集計結果では、18名のと

ころで同点同順位もなく、19名以降の票数は1票刻みで続き大きな票数の差がないため、基準の18票で優秀賞を決定することが妥当と判断し、投票数1位からの18位、18名を優秀賞として決定しました。

以 上